

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について 【全体概要】

枚方市立山田小学校

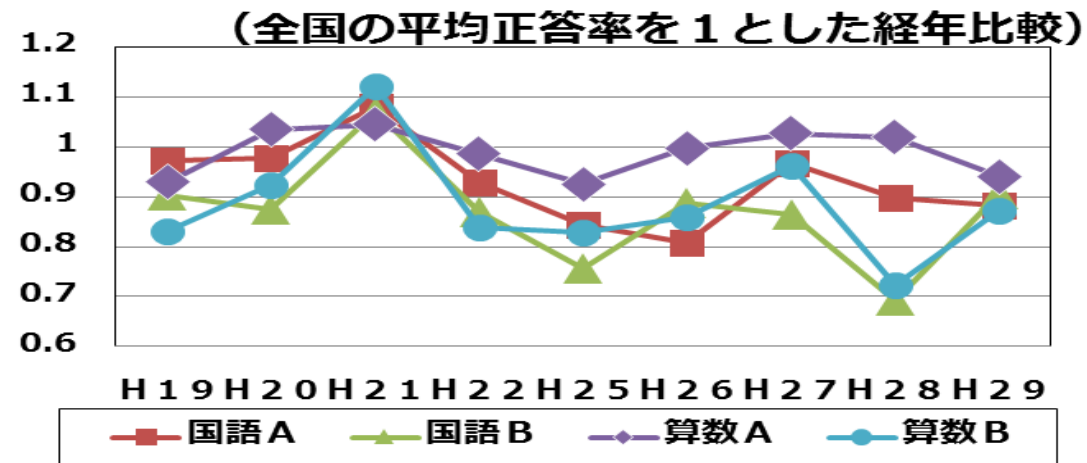
文部科学省が今年4月に実施した、平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について、保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、今年度は、全国を基準とした経年推移によって、本校の学力や学習の状況をお知らせするものです。引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

学力調査の結果

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。

平均正答率経年比較（対全国比）



< 学力調査結果の概要 >

- 国語Aについて
→全国の平均正答率を下回りました。「読むことに関する領域」から出題されている問題の解答に課題が見られました。
- 国語Bについて
→全国の平均正答率を下回りました。「書くことに関する領域」から出題されている問題の解答に課題が見られました。
- 算数Aについて
→全国の平均正答率をやや下回りました。「数と計算に関する領域」から出題されている問題の解答に課題が見られました。
- 算数Bについて
→全国の平均正答率を下回りました。「図形、数量関係の領域」から出題されている問題の解答に課題が見られました。
全体を通して、全国平均正答率を下回りましたが、その幅は小さくなっている傾向にあります。

< まとめ >

学校全体で主体的に「聴く」、「話す」、「読む」、「書く」を中心とした授業づくりを行い、基礎学力の定着とともに深い学びを習得できるようにご家庭とも連携を図り、より良い生活習慣を身につける中で放課後の家庭学習の充実を図って行きたいと考えています。

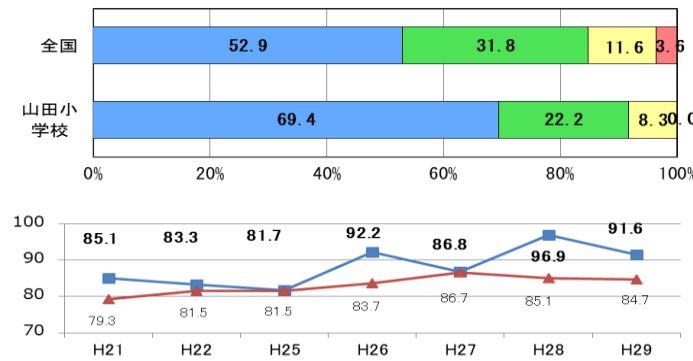
※本調査は、平成19年度から実施されています。
※平成23年度は中止(東日本大震災)、平成24年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

質問紙調査の結果

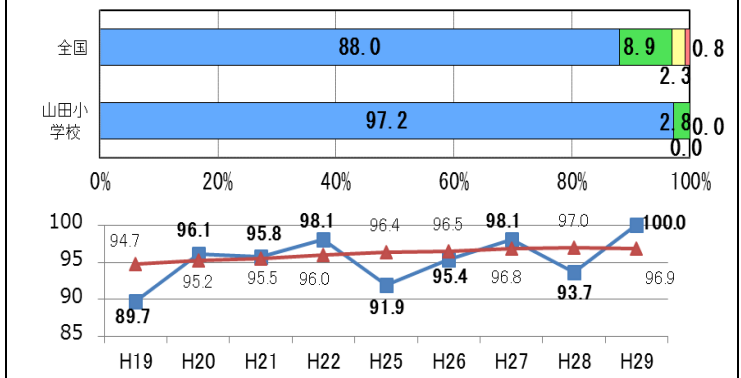
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国
■ 学校

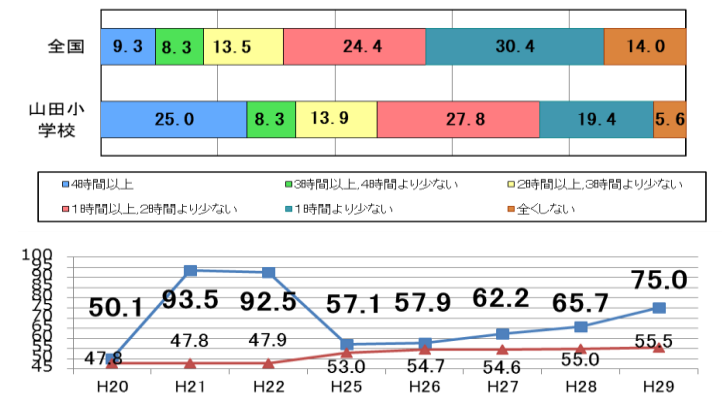
心だんの授業では、自分の考えを発表する機会がよくある



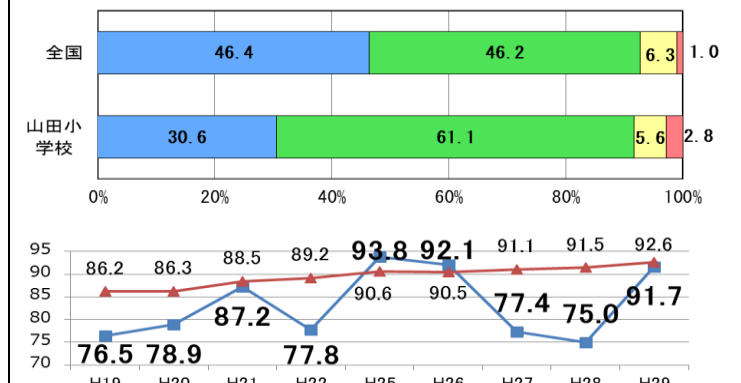
家で学校の宿題をしている



1日当たりテレビゲームやスマートフォンのゲームを1時間以上している



学校のきまりを守っている



< 質問紙調査結果の概要 >

- 授業改善について
→「じっくり聴ける しっかり話せる 山田っ子」をめざして授業研究、授業づくりを行っていますが、授業の中で自分の考えを話す機会が多いと感じている児童が多く、成果として現れていると思います。
- 家庭学習について
→家で学校の宿題をする意識が向上しています。(H29年度100%) 今後も放課後の家庭での学習時間、宿題や自学自習の定着にむけてご家庭と連携しながら取り組んで行きたいと思っています。
- 学習規律について
→学校のきまりを守るという意識が向上しつつあるので、「中宮中学校区 学習規律スタンダード」に基づいた指導(チャイムが鳴るまでに授業の準備をして座る。授業はじめと終わりにきちんとあいさつをする。等)を今後も学校全体で行って行きたいと思っています。
- 生活習慣について
→家でスマートフォンやテレビゲームをする時間が全国平均より長く、夜寝る時間や家庭学習の時間に課題が見られました。ご家庭でテレビを見る時間や、ゲームをする時間を決めていただく等のご協力をお願いいたします。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

教科に関する調査について

<国語A> (主に知識に関する問題)

成果や課題があった設問

【成果】

5 右の文章は、『三度目の正直』の一場面である。文中の「三度目の正直」の意味を最もよく表しているものを、下のイ、ロのいずれか一つを選んで、その番号を書きなさい。

イ 三度目は、一回目は失敗したけれど、二度目は成功した。三度目は、二度目の失敗だ。
ロ 三度目は、一回目は失敗したけれど、二度目は成功した。三度目は、二度目の成功だ。

1 ほとんど失敗したけど、時には失敗することもあるよ。二度目の正直だよ。
2 多くは成功したけど、時々失敗することもあるよ。二度目の正直だよ。
3 一回目は失敗したけど、二度目は成功した。三度目の正直だよ。

三度目の正直

(後) (前)

1 2 3 4 5

Y

	正答率	無解答率
山田小学校	91.7	0.0
全国	90.0	0.8

(考察)

ことわざの意味を理解して、自分の表現にもちいることができるかどうかをみる問題で、特に「三度目の正直」についての問題では、正答率が高く、全国平均を上回り、無解答もありませんでした。

【課題】

4年生のみなさんへ

放送委員会
委員会活動の体験のお知らせ

1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)
10時25分から10時45分まで

2 集合場所
多目的ルーム

3 参加 (1) たいしょう
4年生の (2) きぼう者

4 申し込み 期限と申し込み方法
(3) 2月14日(水)までに申しこんでください。
・事務室前に申し込み用紙と箱が (5) おいてあります。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れてください。

5 お願い
・当日は、全員が体験できるように、放送委員の (6) 指示にしたがってください。

7 部の漢字の読みをひらがなで、.....部のひらがなを漢字で、それぞれにねいに書きましよう。

	正答率	無解答率
山田小学校	16.7	19.4
全国	42.0	10.6

(考察)

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く問題や、漢字を正しく読む問題において、特に(1)たいしょう(正答:対象)の正答率が低かったです。(2)～(6)の問題においても全国の平均正答率を下回りました。(5)においてあります(正答:置いてあります)についても、無解答率が高く、「漢字を書く」「漢字を読む」ことの定着に課題が見られました。

<国語B> (主に活用に関する問題)

成果や課題があった設問

【成果】

1 右の文章は、『小王子』の一場面である。文中の「小王子」の意味を最もよく表しているものを、下のイ、ロのいずれか一つを選んで、その番号を書きなさい。

イ 小王子は、地球に降ってきた王子だ。ロ 小王子は、地球に降ってきた王子だ。

1 2 3 4 5

Y

	正答率	無解答率
山田小学校	86.1	0.0
全国	77.2	0.5

(考察)

目的や意図に応じ、自分が伝えたいことについて、的確に話すことができるかどうかをみる問題で、動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことができるかどうかを見る問題は、正答率も全国平均を上回り、無解答もありませんでした。

【課題】

3 大塚さんの作文では、あまきみこさんが書いた「あの日の漢字」という題名の物語を読み、それが考えだされたことについて、大塚さんの表現を基に理由を述べ、その考えを述べよう。

「あの日の漢字」

あまきみこさんの作文は、あまきみこさんが書いた「あの日の漢字」という題名の物語を読み、それが考えだされたことについて、大塚さんの表現を基に理由を述べ、その考えを述べよう。

あまきみこさんの作文は、あまきみこさんが書いた「あの日の漢字」という題名の物語を読み、それが考えだされたことについて、大塚さんの表現を基に理由を述べ、その考えを述べよう。

あまきみこさんの作文は、あまきみこさんが書いた「あの日の漢字」という題名の物語を読み、それが考えだされたことについて、大塚さんの表現を基に理由を述べ、その考えを述べよう。

	正答率	無解答率
山田小学校	19.4	41.7
全国	43.7	19.4

(考察)

物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる問題では、正答率が低かったです。また、無解答率も高く、この問題に限らず他の問題においても、書く力が必要な、記述式の問題の解答に課題が見られました。

<算数(数学) A> (主に知識に関する問題)

成果や課題があった設問

【成果】

1

1 mあたりの値段が60円のリボンを何m買います。そのときの代金の求め方を考えます。

(1) リボンを2 m買ったときの代金はいくらですか。また、リボンを3 m買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

(2) リボンを0.4 m買います。このときの代金を□円として、リボンの長さとの関係を下の図に表します。
「1 mあたりの値段の60」、「買う長さの0.4」、「0.4 m分の代金の□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。
アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

【課題】

9

家でイヌやネコを飼っているかどうかを、13人に聞いて、下のように記録しました。

出席番号	イヌ	ネコ
1	○	×
2	×	×
3	○	×
4	○	○
5	○	×
6	×	×
7	○	×
8	×	×
9	○	○
10	×	○
11	○	×
12	×	×
13	○	×

○…飼っている
×…飼っていない

左の記録を下の表にまとめます。

		ネコ		合計
		○	×	
イヌ	○	ア	イ	
	×	ウ	エ	
合計				オ

○…飼っている
×…飼っていない

(1) 左の出席番号1番の人は上の表の ア から エ までのうちのどこに入りますが、1つ選んで、その記号を書きましょう。

(2) 上の表の オ にあてはまる数を書きましょう。

	正答率	無解答率
山田小学校	97.2	0.0
全国	96.9	0.4

(考察)

リボンを2 m買ったときの代金と3 m買ったときの代金を書く問題では、具体的な問題場面において、乗法で表すことができる2つの数量の関係を理解できているかが問われていたが、正答率も高く、全国平均を上回り、無解答もありませんでした。

	正答率	無解答率
山田小学校	44.4	11.1
全国	62.8	5.1

(考察)

資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができるかどうかをみる問題では、正答率が低く、無解答率も高かったです。資料を二つの観点から分類整理し、表に表すことに課題が見られました。

<算数(数学) B> (主に活用に関する問題)

成果や課題があった設問

【成果】

あやかさんは、カードの差が2や3の場合に、2けたのひき算の答えがそれぞれ18、27になることを、次のように図を使って考えました。

【あやかさんの考え】

カードの差が2の②と③を選んだ53-35の場合
53を10が5つと1が3つ、35を10が3つと1が5つとみて、図1のように表しました。図の中の⑩は10を、①は1を表しています。

図1

53から35をひくと、残るのは図2の⑩の部分です。1つの⑩は、10-1、つまり9を表しています。

図2

⑩の部分に2つ残るから、2けたのひき算の答えは、 9×2 で、18になります。

カードの差が3の②と③を選んだ52-25の場合
カードの差が2の場合と同じように考えます。
52から25をひくと、残るのは図3の⑩の部分です。

図3

⑩の部分に3つ残るから、2けたのひき算の答えは、 9×3 で、27になります。

(2) カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えが9になることを【あやかさんの考え】と同じように考えます。
②と③を選んだ54-45の場合では、どこが残りますか。
解答用紙の図に○をかき入れましょう。

(3) そうたさんは、カードの差が1、2、3の場合の2けたのひき算の答えを下のようにまとめました。

カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えは9です。
カードの差が2の場合、2けたのひき算の答えは18です。
カードの差が3の場合、2けたのひき算の答えは27です。
カードの差がわかれば、2けたのひき算の答えはかけ算で簡単に求めることができます。

そうたさんが言うように、カードの差を使って、2けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができる場合があります。
このままりを、言葉と数を使って書きましょう。
そのとき、「カードの差」「2けたのひき算の答え」の2つの言葉を使いましょう。

【課題】

月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。
1円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ下のとおりです。

1円玉	100円玉	500円玉
20 mm	22.6 mm	26.5 mm

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。
下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。
また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

1 100円玉
2 500円玉

	正答率	無解答率
山田小学校	91.7	8.3
全国	81.8	3.9

(考察)

示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができるかどうかをみる問題では、正答率が高く、解答した児童はすべて正答でしたが、無解答率はやや高かったです。

	正答率	無解答率
山田小学校	5.6	13.9
全国	13.2	8.7

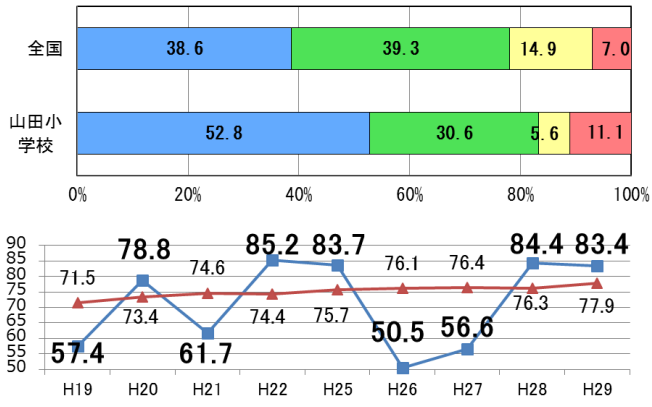
(考察)

身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述できるかどうかをみる問題では、正答率が低かったです。
「問題を読み解いて何を答えないといけないのかを分かる力」と「思いついた解答を文章で記述する力」に課題が見られました。情報の取捨選択ができないうえに、文章を読み取れておらず、記述式の問題に課題が見られました。

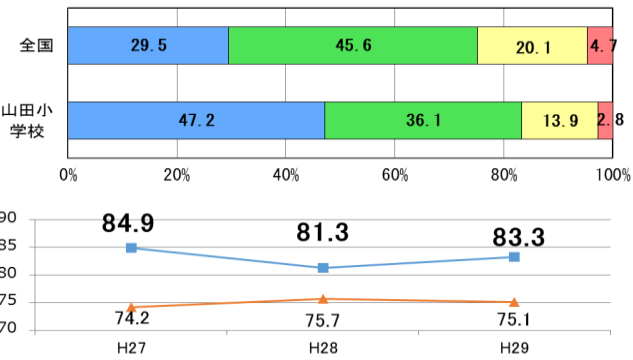
質問紙調査について

【成果のあった項目】

自分には良いところがある

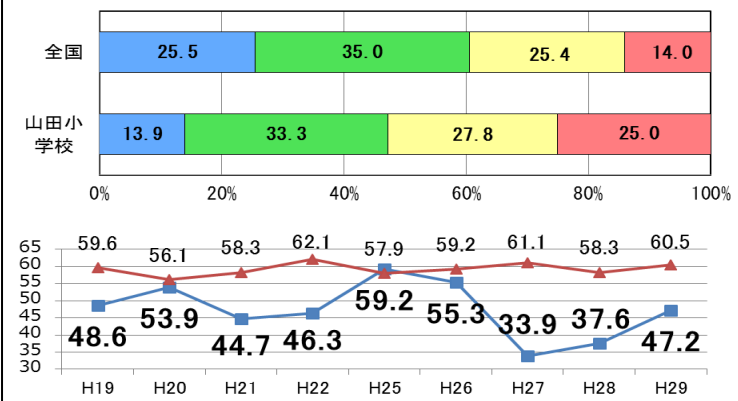


学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか

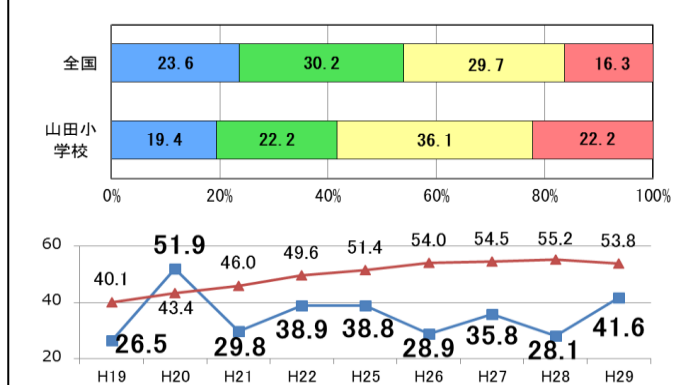


【課題が残った項目】

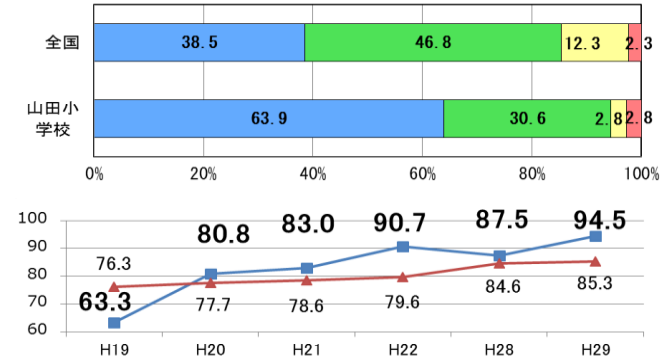
国語の勉強は好きですか



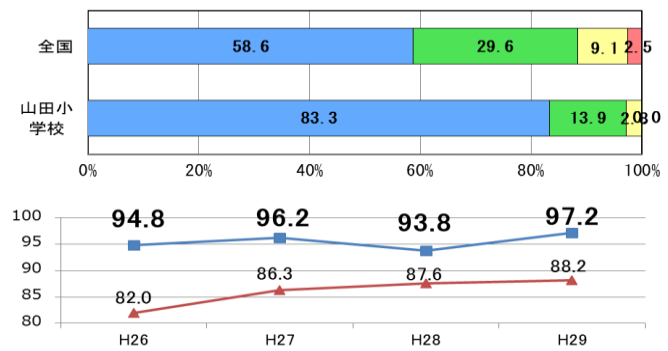
学校の授業の復習をしている



人が困っているときは、進んで助けている



授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う

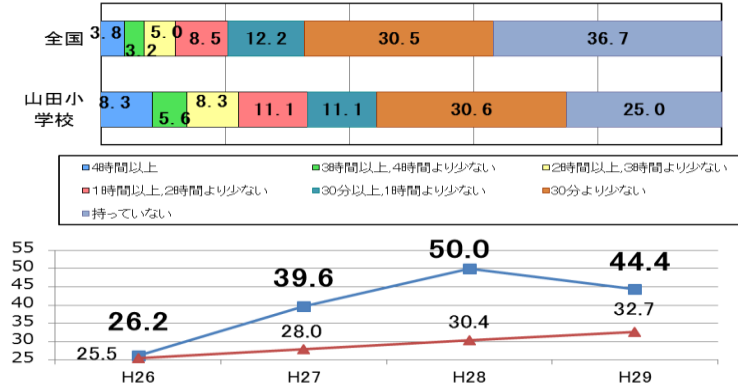


(考察)

学校として「自尊感情を受容し合う気持ちの育成」をめざして、校内研修を行い取り組んでいます。質問紙調査の結果からは、自己肯定感や自己有用感が育ちつつある様子が見られ、他者を思いやる心も育っていることが伺えます。

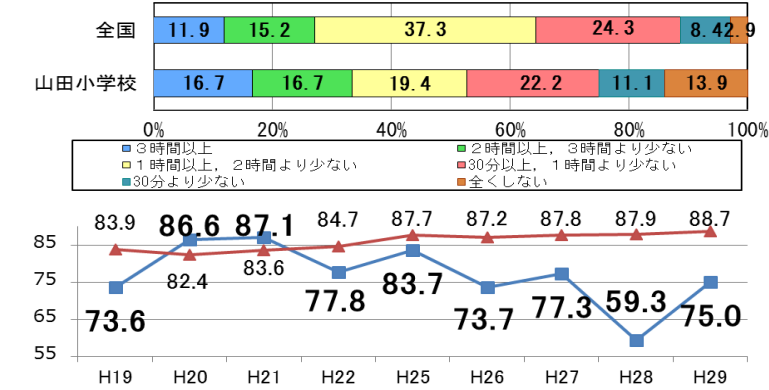
また、授業の中で「めあてが示されている」、課題解決のために「話し合いながら、発表している」と回答している児童の割合が高く、「Hirakata 授業スタンダード」でも示されていますが、「めあて」を示した授業、「学びあう」授業が学校全体で行われており、児童にも意識されている様子が見られます。

普段1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



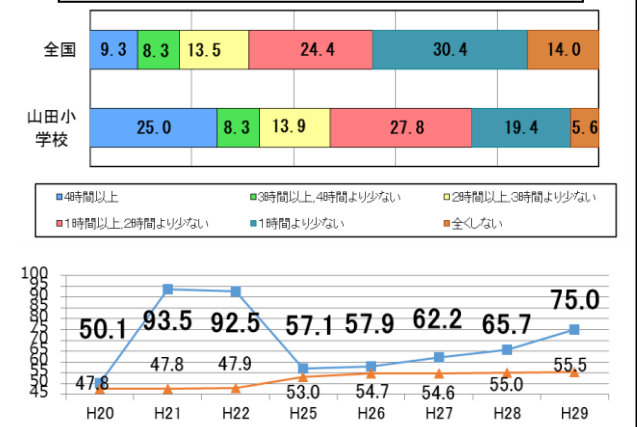
※折れ線は、30分以上通話やメール等をしている割合

学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



※折れ線は、30分以上勉強している割合

普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームやスマートフォンのゲームをしますか



※折れ線は、1時間以上テレビゲームをしている割合

(考察)

質問紙調査において、国語が好きと回答した児童の割合が全国の平均値より低く、文章を「書くこと」や「読むこと」に苦手意識を持っている児童の割合が高いことが伺えます。

家庭においては、宿題をしていると回答した児童が100%で、家で宿題をするという習慣が定着してきています。しかしながら、スマートフォンを利用してメールや、ゲーム(テレビゲームも含めて)をしている時間が全国の平均値より高く、宿題以外の学習を家庭でしている割合は低いことがわかりました。その影響もあり、家庭での学習時間が、全国の平均値より短い傾向にあることに課題があると思われます。

分析結果を踏まえて今年度取り組んでいます。

(1) 授業について

基礎学力の定着、「話し合いの中で伝え合う力」「友達の意見の要点を聞き取る力」「自分の考えを持って文章を書く力」の向上をめざした授業づくりとノート指導を行っています。また、自尊感情を育むためにさまざまな教育活動の取組み(人権教育、児童会活動、キャリア教育、地域との交流等)を行っています。

国語については、語彙をふやすために辞書を効果的に使用し、漢字を書く力、読む力をつけるため、4・5・6年では漢字チャレンジに取り組んでいます。また、自分の考えを自分の言葉で書けるよう、授業の振り返りや、さまざまな場面で文章を書く取組みを継続して行っています。「読む力」の育成のため、教室にも本を設置したり、ボランティアの方に読み聞かせをしていただき、読書活動の推進を図っています。

算数については、授業はじめの基礎計算プリントを繰り返し行うことで定着をはかり、長文問題にも取り組んでいます。

(2) 学習規律について

「中宮中学校区の学習規律」の定着に向けて、チャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席するよう促し、授業のはじめやおわりのあいさつについてもしっかり行うよう指導を行っています。「人の話をしっかり聴く」「自分の考えをはっきり話す」指導も行っています。

(3) 家庭学習について

規則正しい生活習慣や学習習慣が身につくように、ご家庭には「生活習慣振り返りカード」「家庭学習の手引き」の活用をお願いし、学校では毎日の宿題の確認、自学ノートの好事例の紹介、放課後自習教室利用の促進、自学自習プリントの持ち帰りの声かけ等を行っています。